



12章の受講に向けたプロローグ(序章)は『屋外取材』からスタートします

§ スケジュールの詳細は、裏面をご覧ください。 §

クレパス技法 12章 - 前期 - +Puls



講師参考作品

田伏勉先生 クレパスによる作品

後期印象派の画家「ピエール・ボナール」

の技法と色彩を用いた作品

— 「洋画」のテイストを“プラス”して描く —

特別 全 12 プログラム

指導講師

田伏 勉

【洋画家・独立美術協会 会員】

「西洋画」の技法を『クレパス』であらわす

さらに技術を磨き、オリジナリティ《独創性》を追求する人への12章

2017年の「クレパス技法12章」は、西洋画の基本的な12の技法を取り入れて作品を描きました。2018年は、「印象派」～「現代絵画」まで時代を代表する『作家とその作品』の特徴に着目し、分析と研究、そして下地作りから学びます。それぞれの代表作家が見出した技法を自身の作品に取り入れ、さらにオリジナリティ《独創性》を追求し描きます。「クレパス技法12章」は、洋画の研究を通じて“自分らしい作品制作”とその進め方を考えることが大きなテーマです。そして油彩画と同じ効果を発揮し、美しい色を持つ『専門家用クレパス』を扱うことで、理解が深まることでしょう。参加は、一度は絵画経験のある方ならどなたでもご参加いただけます。普段はクレパス以外の画材で制作されている方にも、おすすめできる内容です。新しい発見の場として、ぜひ『クレパス技法 12章』をご活用ください。

—— 講師 田伏 勉

速 報 版

2018年度[クレパス技法 12章]

『クレパス技法 12章+plus』 前期 ～オリジナリティ 《独創性》 を追求する人への12章～

『クレパス画』愛好家のみなさまへ

2018年度「クレパス12章+plus」前期は、Ⅰ・プロローグ（屋外取材）/Ⅱ・第1章～6章/Ⅲ・エピローグ（自由制作）の3部構成を予定しています。屋外取材は、講師の田伏先生と『風景取材』に出かけ、各章の制作に必要な「素材・構図の要素」を現地で指導頂き、ご自身で撮影して頂きます。教室制作では、「風景資料」をトリミング（構図構成）、デフォルメ（強調）から始まり、西洋画の時代を追って代表作の特徴を研究、下地作り、制作へと進みます。屋外取材で撮影された風景資料は、よりオリジナリティ（独創性）を追求するための重要な工程であり、すべての章で使用するモチーフとなります。そして、前期6章を終了した時点で、これまでの研究、学んだ技法の中から、ご自身にあったものを用いて自由制作を行います。すべての工程にご参加いただくことで「クレパス画」の世界を楽しみながら、より技術を磨いていただける内容ですので、奮ってご参加ください。

※ご都合により、参加可能な開催日を選択、お申込みいただくことも可能です

前期スケジュール【予定】

		月	日	テーマ	取材対象	取材先	参加者持参
Ⅰ プロローグ	屋外取材	4月	18日	印象派・後期印象派	水・橋・建造物	淀屋橋→中之島→北浜	デジタルカメラ メモリーカード
			25日	モダンアート	自然・植物・建造物	鞆公園→本町	
		5月	16日	象徴・フォーブ	花・植物	長居公園	
		月	日	絵画ジャンル/代表作家	内 容	使用画材	参加者持参
Ⅱ 研究と制作 (各章2日間)	1章	6月	6日	象徴派 /クリムト	各ジャンル共通 《1日目》 代表作品の分析と 研究/下地づくり 《2日目》 取材資料を元に制作	パネルまたは、スケッチブック（ブロックタイプ）/アクリル絵の具/アクリルガッシュ/アクリル系下地材各種/溶き油/ペインティングナイフ/筆/ライター/絵皿/まな板/各種素材/その他、必要画材と道具	・クレパスベ シャリスト ・エスキース帳 ・筆記用具 ・エプロンなど
			20日				
	2章	7月	4日	印象派 /ピサロ			
			18日				
	3章	8月	1日	後期印象派 /ボナール			
			29日				
4章	9月	5日	フォーブ /佐伯祐三				
		19日					
5章	10月	3日	モダンアート /マティス				
		17日					
6章	11月	7日	現代絵画 /ホックニー				
		21日					
Ⅲ エピローグ	教室制作	12月	5日	自由制作	《2日間》 自分に合ったジャンルで自由制作	上記画材 F10～15号パネル・水彩紙	
			19日				

※上記予定は、都合により変更となる場合がございます

◆ 正式なご案内は準備が整い次第、お知らせいたします ◆